

II 教育行財政

1 教育委員会の構成



高橋 勝 教育長



佐野 茂樹 委員
(教育長職務代理者)



中田 義仁 委員



佐々木 ひづる委員

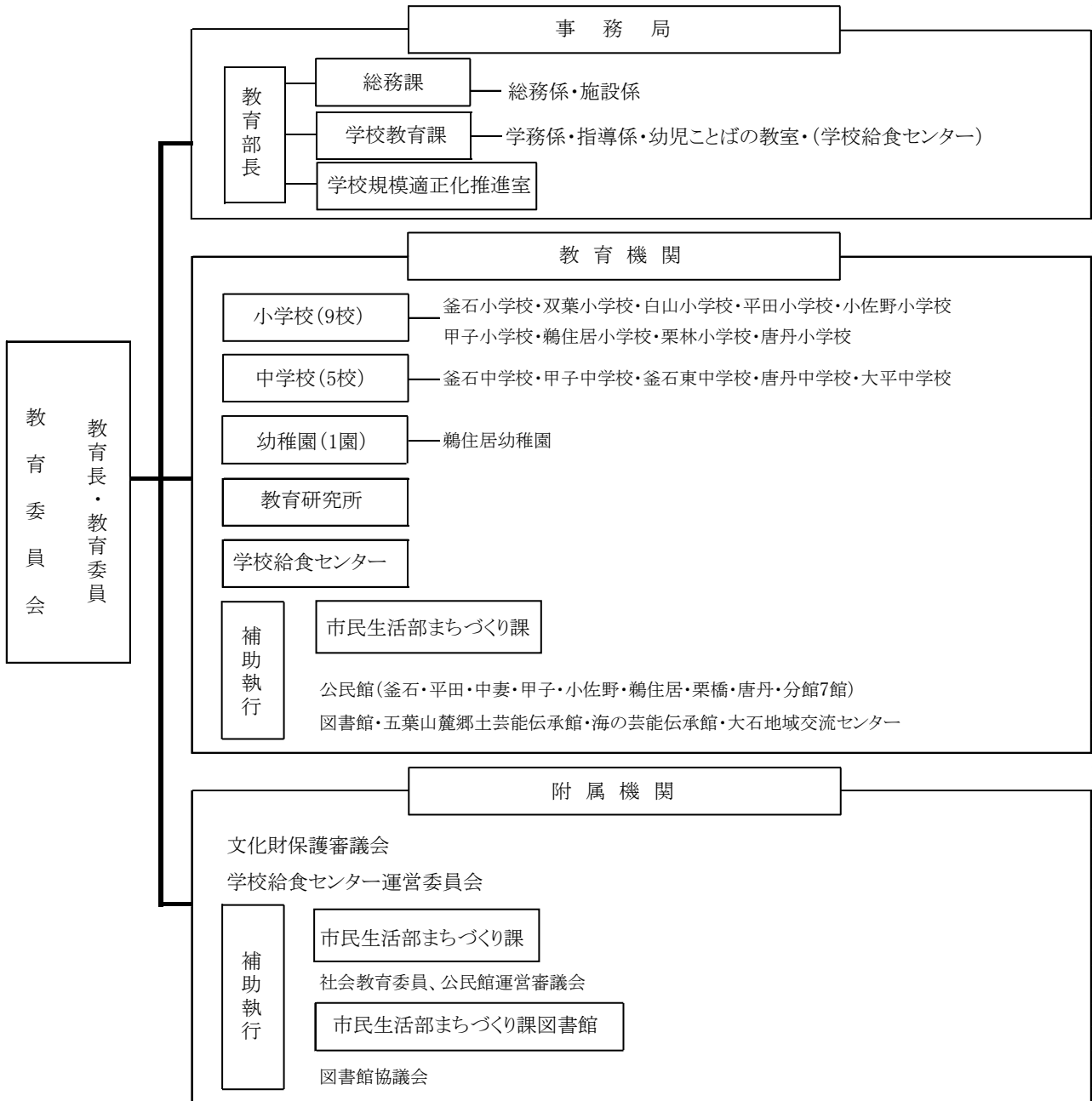


花輪 妙子 委員

(令和5年10月1日現在)

職名	氏名	任期	就任年月日
教育長	高橋 勝	令和4年10月1日～令和7年9月30日 (2期目)	令和2年4月1日
委員 (教育長職務代理者)	佐野 茂樹	令和3年10月1日～令和7年9月30日	令和3年10月1日
委員	中田 義仁	令和4年10月1日～令和8年9月30日	令和4年10月1日
委員	佐々木 ひづる	令和5年10月1日～令和9年9月30日	令和5年10月1日
委員	花輪 妙子	令和2年10月1日～令和6年9月30日	令和2年10月1日

2 教育委員会機構図（令和6年4月1日現在）



※ 教育委員会の事務の補助執行を行う市長部局の関係課

市民生活部まちづくり課 — 生涯学習係、図書館

文化スポーツ部文化振興課 — 文化財係、世界遺産室

3 教育委員会職員数（令和6年7月1日現在）

(1) 教育委員会事務局・教育機関等（学校以外）

区分	教育長	定数内職員												定数外職員		合計		
		部長	課長職		補佐管理職			課長補佐	係長	主任指導主事	主査	主任・主事等	用務員	計	駐在・派遣		会計年度任用職員	
			課長	館長・所長	主幹	所長	館長											
教育長	1												1			0	1	
教育部長		1											1			0	1	
総務課			1				2						3			0	6	
総務係								(1)							1	1		
施設係								(1)	1	1			2			0		
学校教育課			1		1								2		3	3	14	
学務係								(1)			4		4			0		
指導係								(1)	1	1			2	2	1	3		
教育研究所	(1)		(1)						(1)				(3)	(2)	(2)	(4)	(7)	
学校給食センター						1		1			2		4	2		2	6	
幼児ことばの教室							1						1		1	1	2	
学校規模適正化推進室		(1)	1 (2)		(1)		1 (2)						2			0	2	
合計	1	1	3	0	1	1	0	4	1	1	2	7	0	22	4	6	10	32

注) カッコ数字は兼務職員数

(2) 学校

ア 幼稚園

令和6年5月1日現在

	園長	教諭	小計	教育補助員	合計
鶉住居幼稚園	1	1	2	1	3

イ 小学校

令和6年5月1日現在

	県費支弁職員数											市費支弁職員数					合 計
	校 長	副 校 長	主 幹 教 諭	指 導 教 諭	教 諭	指 導 養 護 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 職 員	小 計	用 務 員	特 別 支 援 教 育 支 援 員	学 校 教 育 支 援 員	看 護 師	小 計	
釜石	1	1			10		1		1	1	15	1	2			3	18
双葉	1	1	1		9		1		1	1	15	1	2		2	5	20
白山	1	1			5		1		1	1	10	1	1			2	12
平田	1	1			10		1		2	1	16	1	1			2	18
小佐野	1	1	1		18	1	1		2	1	26	2	3			5	31
甲子	1	1			15		1		4	1	23	2	2	1		5	28
鵜住居	1	1	1		10		1	1	1	1	17	1	2			3	20
栗林	1	1			5		1			1	9	1	0			1	10
唐丹	1	1			7		1			1	11	1	1			2	13
合計	9	9	3	0	89	1	9	1	12	9	142	11	14	1	2	28	170

ウ 中学校

令和6年5月1日現在

	県費支弁職員数											市費支弁職員数					合 計
	校 長	副 校 長	主 幹 教 諭	指 導 教 諭	教 諭	指 導 養 護 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	講 師	事 務 職 員	小 計	用 務 員	特 別 支 援 教 育 支 援 員	学 校 教 育 支 援 員	小 計		
釜石	1	1		2	23		1		1	2	31	2	2	1	5	36	
甲子	1	1			12		1		3	1	19	1	1		2	21	
釜石東	1	1			9		1	1	1	1	15	1	1	1	3	18	
唐丹	1	1			6		1				9	1			1	10	
大平	1	1			8		1			1	12	1	1		2	14	
合計	5	5		2	58		5	1	5	5	86	6	5	2	13	99	

4 令和6年度教育行政方針演述（令和6年3月釜石市議会定例会）

令和6年3月釜石市議会定例会の開会にあたり、令和6年度の教育行政方針についてご説明申し上げます。

はじめに

1月1日に発生した令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々やご家族に心からお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

また、ロシアによるウクライナ侵攻はいまだに続いております。さらに、中東でも紛争が起きており、多くの市民や子どもたちが犠牲となっております。郷土岩手の作家・詩人である宮澤賢治は、「世界がぜんたいに幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」と説いています。世界から戦争や貧困がなくなり、世界中の子どもたちが、元気に遊び、希望を持って学び、明日に向かって夢を育むことができる、そのような当たり前の世界になることを市民の皆様とともに、希求してまいりたいと思います。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類になり、臨時休校や行事を延期した学校があったものの、子どもたちの学校生活は、落ち着きを取り戻してきております。3年間、休止となっていた釜石大槌地区小学校連合音楽会、同じく中学校連合音楽会も開催されました。これまで、子どもたちに我慢を強いていた面がありましたが、子どもたちの学校生活に、これまで以上の活気が出ることを願っております。

東日本大震災から13年目を迎えようとしていますが、令和6年能登半島地震では、改めて、当市の子どもたちの命を守ることの大切さを実感させられました。このことを忘れず、令和6年度の教育行政を推進してまいります。

それでは、第六次釜石市総合計画に掲げる施策を中心に、令和6年度の施策の概要について申し上げます。

1 健やかな成長を図る幼児教育の充実

幼児教育の充実につきましては、令和4年度及び令和5年度の2ヵ年にわたって岩手県教育委員会の指定を受け取り組んだ「幼児教育推進モデル指定研究事業」を通じ、これまで以上に幼児教育施設と小学校との連携が図られております。令和6年度は、その成果を生かし、国から示されている方針に基づき、幼児教育と小学校教育をつなぐカリキュラムの開発、「釜石市架け橋期のカリキュラム」開発に取り組んでまいります。

このカリキュラム開発は、5歳児から小学校1年生の2ヵ年を生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるために重要な期間と捉え、その充実を図るためにカリキュラムを開発するものです。「釜石市架け橋期のカリキュラム」を当市の子どもたちの強く生き抜く力の育成につながるものにしてまいります。

2 生きる力を育む学校教育の充実

学校教育の充実につきましては、「確かな学力の育成」、「豊かな心の育成」、「健やかな体の育成」、「いのちの教育の充実」及び「地域との連携・協働の推進」を中心に、引き続き、「魅力ある学校づくり」を通じた「強く生き抜く力の育成」に取り組んでまいります。

不登校児童生徒の増加が学校教育の課題になっておりますが、最も重要な対策は、児童生徒が通いたいと思える「魅力ある学校」にすることです。そのためには、子どもたちの意見や考えを大事にし、子どもたちが主体となって取り組める学校とすることが求められます。

また、「強く生き抜く力」の1つとして学力向上も課題であり、魅力ある学校づくりには、学び

の充実も重要であると捉えております。

「魅力ある学校づくり」を通じて、子どもたちの可能性を伸ばし、子どもたち一人ひとりが育つ学校になるよう努めてまいります。そして、当市の子どもたちに、今を強く生き抜く力と未来を強く生き抜く力を育ててまいります。

(1) 確かな学力の育成

確かな学力の育成につきましては、「予測困難な時代」が到来している中で、自ら課題を発見し、自ら考え、自分らしさを発揮して協働しながら解決に取り組む力の育成が求められております。このことを踏まえ学習指導要領が目指す「知識・技能の習得」、「思考力・判断力・表現力の育成」、「学びに向かう力・人間性」の育成に取り組んでまいります。

そのためにも、ICTを効果的に活用することも大事にしながら、令和3年3月に文部科学省中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」で示された、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、多様な他者と協働しながら必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」の一体的な充実が図られるよう取り組んでまいります。

学力向上は、当市の課題でもあります。諸調査の結果の分析により、児童生徒のつまずきの状況を把握し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を一層推進してまいります。

また、中学校区内の小中学校が各種学力調査の結果をもとに、学区内の児童生徒の課題を共有しながら学力向上に取り組むことや、家庭学習の取組の連携など、学力面の連携を図ってまいります。

さらに、中学校における学習支援員を活用した放課後学習の実施や、中学生が英語検定試験3級以上を受検する場合の検定料の支援などを行い、意欲的に学ぶ機会を創出してまいります。

(2) 豊かな心の育成

豊かな心の育成につきましては、温かい人間関係を基盤として、豊かな情操を育むことや自己肯定感を高めることとともに、互いのよさや違いを認め合い、自他を尊重する児童生徒の育成に努めてまいります。

そのために、生命の尊さ、思いやりや感謝の心、規範意識や公德心などを育む道德教育の充実、集団活動や体験活動を通して人間形成を図る特別活動の充実、芸術・文化に触れることや読書活動の推進により、豊かな感性や情操を育むことに取り組んでまいります。

豊かな心は、生きる力の基盤となるものです。学校教育全体を通して、豊かな心を育ててまいります。

(3) 健やかな体の育成

健やかな体の育成につきましては、新体力テストの結果をもとに、基礎的な体力や基本的な運動技能の向上を図るよう体育の授業改善に努めます。また、岩手県教育委員会が推進する、1日に60分以上の遊びを含めた運動やスポーツに親しむために、望ましい食習慣及び基本的な生活習慣と関連づけながら、運動習慣作りに向けた取組を行う「60プラスプロジェクト」推進事業に取り組んでまいります。

学校体育や部活動、健康教育の充実、食育の推進により、より良い運動習慣、望ましい食習慣、規則正しい生活習慣づくりを行い、児童生徒が、生涯を通じて自らの体力や健康を意識し、その保持・増進に努める態度を育ててまいります。

(4) いのちの教育の推進

いのちの教育の推進につきましては、令和4年度及び令和5年度の2ヵ年をかけて作成した「釜石市防災教育の手引き」が完成したことから、令和6年度から、市内すべての小中学校において、この手引きを用いて防災教育を行うこととしております。新たに作成した「釜石市防災教育の手引き」では、地震・津波のほか、土砂災害や洪水についても取り上げております。

いのちの教育では、郷土を愛する心を土台とし、防災教育を通して、自他の命を守ることに

ながる思考力、判断力、行動力を高めてまいります。

(5) 国際理解教育の充実

国際理解教育につきましては、自国の文化への理解や郷土への誇りと愛着を持つこととともに、他国の文化への理解と異なる文化を尊重する態度を育ててまいります。

令和5年度には、国際交流課による中学生海外派遣事業として、市内中学生6名をフランスに派遣しました。参加した生徒は、国際感覚を磨き、異文化にふれ、帰国後は、その体験や学んできたことを他の生徒に伝え、他の生徒も学ぶことができました。

また、イギリスやオーストラリア、エジプトの小中学生とオンラインによる交流を行い、同年代の子どもと英語によるコミュニケーションを体験する機会としております。

このような学習の機会を通して、グローバルな視点で物事を見たり、考えたりできる児童生徒を育ててまいります。

(6) 小学校から高等学校までの系統的なキャリア教育の推進

キャリア教育の推進につきましては、小学校、中学校、高等学校のそれぞれの発達段階に応じて、児童生徒一人ひとりが社会人・職業人として自立するために、必要な資質・能力の育成を目指し、学級活動や学校行事、小中学校の総合的な学習の時間、高等学校の総合的な探求の時間や各教科の学習など、学校教育全体を通して、その推進を図ってまいります。

望ましい職業観・勤労観を育む機会として重要な職業体験活動につきましては、総合政策課との連携により、中学生を対象とした職業体験活動を行う「釜石オープン・フィールド・カレッジ推進事業」を活用してまいります。

3 地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進

(1) 地域との交流の推進

地域との交流の推進につきましては、地域の方々の学校教育への各種ボランティアとしての参加やコミュニティ・スクールを生かした活動などを通して、地域の方々と交流を図ってまいります。

児童生徒が、地域の方々と交流を通して、地域の文化を継承したり、教えられたりすることは、大切なことです。また、地域の方々から声をかけられたり励まされたりすることは、大変うれしいことであり、豊かな心の育成にもつながるものと捉えております。

地域と学校がより良い関係の中で、共に子どもたちの教育に取り組む体制づくりに努めてまいります。

(2) 郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動

郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動につきましては、児童生徒が郷土の歴史や文化、自然、人に触れ、郷土への誇りと愛着を持つことが、人間形成においても大事なことでありと考えます。

引き続き、文化スポーツ部の協力のもと市内全ての中学校1年生を対象とした鉄づくり体験の実施、義務教育期間における橋野高炉跡の見学、鉄の歴史館の見学等を「鉄の学習」として実施し、近代製鉄発祥の地としての当市の歴史を学ぶことにより、郷土への誇りと愛着を高めてまいります。

また、小学校ラグビー大会への参加や岩手県中学校総合体育大会ラグビー競技への参加などラグビーを通じた、郷土への誇りと愛着の醸成にも努めてまいります。

(3) 児童生徒の主体的な活動の推進

釜石の子どもたちは、昨年3月に発生したトルコ・シリアでの大地震、7月に起きた秋田県の洪水災害、1月に発生した令和6年能登半島地震に対し、釜石市内児童生徒で構成する「かまいし絆会議」が、主体的に各学校での募金の呼びかけを行い、東日本大震災の支援への感謝の気持ちを込めて、集まったお金を日本赤十字社を通じて被災した国及び被災地に届けました。

このように、これからも「かまいし絆会議」を中心に、市内小中学生が、自分たち自身の課題や地域、社会の出来事について問題意識を持ち、自分たちにできる活動に主体的に取り組むことができる児童生徒を育ててまいります。

(4) 学校給食を生かした食育の推進

学校給食を生かした食育の推進につきましては、地元の農産物及び海産物を学校給食に利用し、児童生徒の食に関する関心を高めながら、安心安全で子どもたちが食べることを楽しみにする給食の提供を行ってまいります。また、学校と連携した栄養教諭による食育指導も計画的に行ってまいります。

学校給食及び栄養教諭を中心とした食育の推進により、令和6年度からの第三次釜石市食育推進計画に掲げる目標が達成できるよう取り組んでまいります。

4 教育環境の充実とさらなる向上

(1) 学校施設の適切な維持管理と環境整備

学校施設の維持管理につきましては、児童生徒が安心安全に学校生活が過ごせるよう、今後も適切に修繕等を行うなど対応してまいります。

学校施設のトイレの洋式化については、令和6年度は、市内1校の校舎のトイレの洋式化工事を行うとともに、令和7年度の洋式化に向けて市内1校の実施設計を行ってまいります。

また、空調整備につきましては、新たに特別支援学級が設置される学校においてエアコンを設置するとともに、引き続き特別教室への設置を行ってまいります。

学校施設の維持管理と環境整備につきましては、これからも予算を勘案しながら計画的に取り組んでまいります。

(2) 家庭や地域との連携強化

家庭や地域との連携強化につきましては、岩手県教育委員会が掲げる学校と家庭や地域が達成すべき目標を共有する目標達成型の学校経営について、コミュニティ・スクールの仕組みを生かして取り組んでまいります。

令和4年度に全ての小中学校に設置したコミュニティ・スクールも3年目を迎えます。令和6年度は、コミュニティ・スクール推進協議会を開催し、課題を整理しながら、より良い取組の在り方について協議してまいります。

児童生徒の登下校の見守り活動や学習支援など、これからも学校教育への保護者や地域の方々の協力をお願いしてまいります。

(3) 相談機能の充実

相談機能の充実につきましては、教育相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談体制のもと、家庭や学校からの相談に対応してまいります。

また、各校における教育相談の計画的な実施により、児童生徒の理解に努め、問題の早期発見につなげてまいります。

(4) 特別支援教育の充実

特別支援教育の充実につきましては、令和6年度、これまで設置している特別支援学級のほか、新たに病弱学級の設置を予定しております。また、医療的ケアが必要な児童に対し、看護師による支援を検討しており、児童生徒の教育的ニーズに応じた支援を一層進めてまいります。

学校生活や学習への支援が必要な児童生徒への支援として、引き続き特別支援教育支援員を配置するとともに、岩手県立祥雲支援学校の協力を得て巡回教育相談を実施し、児童生徒の理解や指導・支援の在り方について助言を得ながら、児童生徒及び学校を支援してまいります。

5 生徒指導の充実

生徒指導の充実につきましては、児童生徒が生き生きと過ごせるよう魅力ある学校づくりを目指した取組により、不登校やいじめが起きにくい学校風土づくりに努めます。

不登校につきましては、国や県と同様に当市でも増加しております。スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施、スクールソーシャルワーカーによる家庭支援、釜石市教育支援センター「若葉教室」の活用、保健福祉部による公民館や児童館を活用し学習支援を行う不登校児童生徒支援事業、学校における別室登校による支援など、学校と連携しながら児童生徒の状況に応じた支援を行ってまいります。別室登校の児童生徒の支援のための支援員の配置についても増員を検討してまいります。

いじめにつきましては、良好な人間関係づくりを土台とし人権意識を醸成してまいります。教職員間の情報共有を密にし、いじめの疑いを見逃さず対応する体制づくりにより、早期に認知し深刻化する前に対応してまいります。事案によっては、関係機関と連携した対応を行ってまいります。

児童虐待やヤングケアラーについても、保健福祉部と情報を共有し対応してまいります。

6 中学校部活動の休日の地域移行

中学校部活動の休日の地域移行につきましては、文化スポーツ部と連携のもと、「釜石市中学校部活動地域移行推進協議会」を設置し、推進に向けた協議を行っております。

令和6年度は、部員数の少ない複数の学校の部活動が休日に合同で練習を行う取組、中学校に希望する部活動がない場合に他校の部活動に参加できる取組など、部活動の形をとりながら地域移行を見据えた取組を行ってまいります。

休日の部活動の地域移行には、受け皿や指導者の確保、諸費用の負担など課題も多くあります。国の動向や先行実施する種目の状況などを踏まえながら、地域移行へ向けた取組を推進してまいります。

7 教職員の働き方改革の推進

教職員の働き方改革につきましては、引き続き「釜石市立学校における教職員の働き方改革プラン」に基づき推進してまいります。働き方改革の推進により、働きやすい環境をつくり、教職員が心身のゆとりをもちながら児童生徒の教育を行うことによって、魅力ある学校づくりにつなげることが大切であると考えます。

令和5年度には、教職員の家への持ち帰り業務についての実態調査を行いました。また、文書処理の簡略化も実施しました。今後も教職員の状況を把握しながら、改善に向けて、各学校の労働安全衛生委員会を機能させ取り組むとともに、教育委員会としましても釜石市労働安全衛生委員会及び校長会議において、働き方改革の推進について協議を行ってまいります。

8 学校規模の適正化・適正配置

市内小中学校の学校規模の適正化・適正配置につきましては、「釜石市立小・中学校における学校規模の適正化・適正配置基本方針」(案)を策定し、議員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様への説明を実施したほか、パブリックコメント及び保護者アンケート調査を実施しました。これらの結果を踏まえ、3月に予定している教育委員会議において基本方針を決定したいと考えております。

基本方針策定後は、学校規模の適正化・適正配置推進計画策定委員会を設置し、具体的な計画案について協議していただき、推進計画案が策定できましたら、議員の皆様、保護者や地域の皆様への説明を経て、推進計画を策定してまいります。

以上、令和6年度の施策の概要について、述べました。

教育委員会といたしましては、令和6年度も「第六次釜石市総合計画」及び「釜石市教育大綱」に基づき、教育振興施策に取り組んでまいります。

子どもたちの未来が明るいものになるよう、議員各位と市民の皆様の深いご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます、教育行政方針といたします。

5 教育財政

(1) 一般会計予算額と教育費の推移

(単位：千円、%)

年度	当 初 予 算 額			決 算 額		
	一般会計	教育費	比率	一般会計	教育費	比率
平成21	16,550,000	1,335,594	8.1	17,919,417	1,597,741	8.9
平成22	16,242,000	1,419,841	8.7	16,982,792	1,420,563	8.4
平成23	17,200,000	1,605,623	9.3	47,655,343	1,422,894	3.0
平成24	38,290,000	1,405,378	3.7	108,314,610	2,067,698	1.9
平成25	85,455,000	1,435,289	1.7	75,635,534	1,367,574	1.8
平成26	108,000,000	2,200,064	2.0	80,339,616	1,998,525	2.5
平成27	103,126,000	2,074,115	2.0	69,665,425	2,299,924	3.3
平成28	75,754,000	2,740,204	3.6	72,040,829	1,944,832	2.7
平成29	64,585,000	3,052,176	4.0	67,107,773	3,415,591	5.1
平成30	50,320,000	2,491,416	5.0	53,678,390	3,069,075	5.7
令和元年	44,757,000	4,087,898	9.1	53,346,455	4,529,628	8.5
令和2年	27,987,000	1,906,243	6.8	41,305,337	1,878,227	4.5
令和3年	20,487,000	1,702,742	8.3	23,553,020	1,660,570	7.1
令和4年	19,823,000	1,649,711	8.3	21,754,713	1,671,162	7.6
令和5年	20,652,000	2,044,312	9.9	23,303,343	1,966,986	8.4
令和6年	22,654,000	1,907,140	8.4	-	-	-

(2) 教育費予算構成の累年比較

(単位：千円)

年度	教育費総額	教育総務費	小学校費	中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費
平成21	1,335,594	231,897	194,242	103,116	175,489	253,559	377,291
平成22	1,419,841	252,504	253,076	117,802	160,584	271,597	364,278
平成23	1,605,623	233,272	381,189	114,009	160,868	286,017	430,268
平成24	1,405,378	199,682	182,348	131,499	186,197	211,846	493,806
平成25	1,435,289	201,577	247,618	145,457	129,713	202,159	508,765
平成26	2,200,064	203,740	661,417	150,164	402,060	246,915	535,768

年度	教育費総額	教育総務費	小学校費	中学校費	幼稚園費	社会教育費	保健体育費
平成27	2,074,115	241,915	296,998	198,431	180,490	355,922	800,359
平成28	2,740,204	246,763	190,912	155,954	71,593	240,696	1,834,286
平成29	3,052,176	262,299	419,749	140,420	71,869	400,765	1,757,074
平成30	2,491,416	263,700	213,431	163,891	62,744	435,480	1,352,170
令和元年	4,087,898	241,360	244,402	151,039	26,440	377,084	3,047,573
令和2年	1,906,243	314,704	341,657	170,365	13,467	366,869	699,181
令和3年	1,702,742	348,558	226,365	134,323	23,383	320,648	649,465
令和4年	1,649,711	360,024	206,722	151,781	18,320	353,294	559,570
令和5年	2,044,312	333,764	259,694	369,825	19,407	452,094	609,528
令和6年	1,907,140	365,145	339,315	119,599	16,519	467,312	599,250

(3) 令和6年度の主な事業

ア 当初予算

◆ かまいし絆会議運営事業 513千円

釜石の未来を担う市内の児童生徒が、自分たちの学校や地域の生活をよりよくするために何ができるかを考え、将来の釜石市をつくるリーダーとなれる力を身に付けていくため、かまいし絆会議として様々な活動を行うものです。

《事業内容》

- 各学校消耗品購入費、会場等使用料

◆ 特別支援教育支援員配置事業 55,769千円

LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥・多動性障がい）、ASD（自閉スペクトラム症）や身体的な障がいをもつ児童生徒の学校生活上の介助や学習活動上の支援を行う特別支援教育支援員を小中学校へ配置し、障がいによる困難を克服するための教育の充実を図るものです。

《事業内容》

- 特別支援教育支援員の配置 19人

◆ かまいしコミュニティスクール推進事業 2,800千円

当市の鉄の歴史や風土、伝統、有形無形の財産を活用して郷土理解を深めるとともに、郷土の誇りや愛着を育てるための活動、地域の人材の活用をはじめとする地域との協働活動など学校の自主的な活動に対して助成するものです。

《事業内容》

- 交付額 1校あたり200千円（小学校9校、中学校5校）

◆ **こころのケア事業 3, 920千円**

児童・生徒の置かれている環境へ適切に働きかけ、ストレス障がいなどを早期に把握するなどきめ細かなケアを継続的に行うためスクールソーシャルワーカーを配置するものです。

《事業内容》

- スクールソーシャルワーカーの配置 1人

◆ **防災教育・復興教育推進事業 2, 249千円**

岩手県教育委員会による「いわての復興教育」プログラムに基づき、「いきる」「かかわる」「そなえる」の3つの教育的価値を関連付けた教育活動を推進し、郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するものです。

《事業内容》

- いわての復興教育スクール 釜石中学校
- 交流学習スクール 唐丹中学校
- 震災学習列車活用スクール 釜石中学校、釜石東中学校

◆ **ICT支援員配置事業 2, 636千円**

急速に進む学校のICT化により環境が大きく変わる学校現場の負担を軽減し、ICT環境が児童生徒の学びのためにより有効に活用されるよう、ICT支援員を配置するものです。

《事業内容》

- ICT支援員配置業務委託料

◆ **学校適応支援員配置事業 9, 636千円**

不登校対策が喫緊の教育課題となっていることを踏まえ、別室登校となっている児童生徒や長期欠席児童生徒の教育機会の確保及び状況の改善の支援のため、学校適応支援員を配置するものです。

《事業内容》

- 学校適応支援員の配置 3人

◆ **放課後等学習支援員配置事業【新規】 3, 596千円**

主に中学3年生の希望者を対象に、放課後等に学習会を開催し、学力の定着と学習意欲の向上を図ろうとするものです。

《事業内容》

- 学習支援員配置業務委託料

(教育費・10款1項3目/学校教育課)

◆ **平田小学校設備等改修事業【新規】** 96,951千円

学校施設の長寿命化や児童の快適な教育環境の向上を図るため、校舎及び屋内運動場の各種設備を改修するものです。

《事業内容》

- トイレ洋式化工事監理委託料 1,507千円
- トイレ洋式化工事 74,536千円
- 空調整備工事（視聴覚室、理科室、特別支援教室） 13,769千円
- 屋内運動場照明改修工事 7,139千円

◆ **学校施設トイレ洋式化事業** 6,160千円

児童の快適な教育環境の向上を図るため、校舎内の既存の和式トイレを洋式トイレに改修するものです。

《事業内容》

- 甲子小学校トイレ洋式化工事設計委託料

(教育費・10款2項1目／教育委員会総務課)

◆ **スクールバス購入事業【新規】** 4,763千円

児童生徒の安全及び適切な運行のため、スクールバスの更新を行うものです。

《事業内容》

- スクールバス購入 1台

(教育費・10款2項1目／学校教育課)

◆ **英検受検料補助事業【新規】** 999千円

中学生の英語学習に対する意欲と学力向上を図るため、文部科学省が後援している英検の受検料を補助するものです。

《事業内容》

- 中学生が英語検定3級以上を受検する場合の受検料

(教育費・10款3項2目／学校教育課)

◆ **放課後子ども教室推進事業** 3,252千円

行政等との連絡調整や活動プログラムの企画等を行う協働活動支援員及び子どもの活動の見守りや学習サポートを行う協働活動サポーターを配置のもと、放課後等における安心安全な子どもたちの活動拠点を設け、自由遊びのほか様々な学習機会（放課後学習、体験活動、異学年交流等）を提供するものです。

《事業内容》

- 実施場所 公民館、集会所、学校内施設、復興公営住宅集会室等
8教室（9小学校区）

◆ **地域学校協働活動体制推進事業** 7, 183千円

地域と学校が連携、協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく地域学校協働活動の推進体制（地域学校協働本部）を設置し、地域と学校の連絡調整等を行う地域コーディネーターの配置のもと、地域住民等の参画を得ながら、学校支援活動をはじめとする様々な地域学校協働活動を行うものです。

《事業内容》

- 地域学校協働本部設置校
釜石小学校、双葉小学校、平田小学校、小佐野小学校、甲子小学校、
鶴住居小学校、栗林小学校、唐丹小学校、釜石中学校
- 地域学校協働本部設置予定校
白山小学校、甲子中学校、釜石東中学校、唐丹中学校、大平中学校

(教育費・10款6項1目/まちづくり課)

◆ **文化芸術振興事業** 5, 751千円

市民誰もが文化芸術に触れる機会を提供するとともに、文化芸術団体等の活動を支援し、市民の心豊かな生活の実現を目指すものです。

《事業内容》

- 釜石市民芸術文化祭開催事業補助金 1,200千円
- 伝統文化子ども教室事業補助金 150千円
- 文化芸術振興事業補助金 2,000千円
- 岩手県青少年劇場及び芸術体験フェスタ開催経費 2,371千円 等

(教育費・10款6項1目/文化振興課)

◆ **グローバル人材育成事業** 14, 543千円

グローバル人材の育成を目的として、外国語講座やイングリッシュキャンプへの参加、中学生海外体験学習事業を行うものです。

《事業内容》

- 中学生海外体験学習事業経費 14,098千円 等

(教育費・10款6項1目/国際交流課)

◆ **埋蔵文化財保存事業** 9, 692千円

埋蔵文化財の保護を目的として、遺跡の詳細分布調査や個人住宅の建設工事や各種開発事業に伴う試掘確認調査を実施するものです。

《事業内容》

- 縄文時代前期の遺跡の詳細分布調査
- 個人住宅の建設工事や各種開発事業に伴う試掘確認調査

◆ **有形文化財公開事業** 1, 136千円

郷土の先人の業績を讃えるとともに、貴重な文化財に触れ、郷土愛を育むため、釜石の文化財を一般公開する事業を行うものです。

《事業内容》

- 市内に残る有形文化財の一般公開

◆ **歴史はっけん事業** 5,942千円

市内に埋もれた歴史や文化財を発見または再発見し、子どもから大人まで幅広く伝えるとともに、歴史や文化財を将来のまちづくりへ活用していくため、釜石市文化財保存活用地域計画に基づいた事業を実施するものです。

《事業内容》

- 釜石市文化財保存活用地域計画協議会の開催
- 市内文化財の調査
- 郷土史に関する講演会の開催

◆ **鉄づくり体験事業** 2,000千円

近代製鉄発祥の地である当市の歴史への理解を深め、「ものづくりの精神」を伝えるとともに、郷土を愛する人材の育成を図るため、子どもたちを対象にした鉄づくり体験や、鉄の週間に合わせた鉄の検定を実施するものです。

《事業内容》

- 市内の中学1年生を対象とした鉄づくり体験の実施
- 鉄の検定の実施

◆ **屋形貝塚保存活用事業** 11,339千円

貝塚を伴う縄文時代の集落跡である「国史跡屋形遺跡」を、保存・活用していくための取組みを進めるものです。

《事業内容》

- 釜石市屋形遺跡整備検討委員会の開催
- 遺跡の内容確認発掘調査

◆ **橋野高炉跡整備事業** 36,548千円

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の保全と活用を推進するため、「橋野鉄鉱山の保存・整備・活用に関する計画」に基づき、採掘場跡及び運搬路跡も含めた史跡整備のための調査を行うものです。

《事業内容》

- 史跡整備検討委員会の開催(2回) 134千円
- 範囲内容確認調査委託料 31,000千円
(発掘調査補助委託料、測量調査委託料、出土遺物保存処理委託料、遺物整理委託料、自然科学分析委託料) 等

◆ **橋野高炉跡修復・公開活用事業** 27,361千円

世界遺産・橋野鉄鉱山を適切に保存・修復し、後世に残していくとともに史跡に関する理解増進を図る必要があることから、二番高炉ブロックの見学道等の整備を行うものです。

《事業内容》

- 二番高炉ブロック見学道整備実施設計委託料 27,346千円 等

◆ **橋野鉄鉱山インフォメーションセンター共通展示整備事業【新規】** 3, 465千円

橋野鉄鉱山インフォメーションセンター内に橋野鉄鉱山及び明治日本の産業革命遺産の構成資産全体を理解できる展示（共通展示）を整備し、世界遺産の認知度の向上、理解増進を図るものです。

《事業内容》

- 橋野鉄鉱山インフォメーションセンター共通展示整備実施設計委託料

◆ **橋野鉄鉱山事業** 6, 126千円

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である橋野鉄鉱山の周知と公開に向けた取組を行うものです。

《事業内容》

- 周知啓発用ポスター・チラシの印刷 450千円
- 観光ガイド委託料 800千円
- 環境整備委託料 1,100千円
- 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会負担金 2,112千円 等

◆ **鉄の歴史館改修事業【新規】** 3, 058千円

当市の製鉄や鉱山の歴史文化を学習する施設として昭和60年（新館は平成6年）にオープンした鉄の歴史館に、経年劣化による老朽化がみられることから、来館者の安全で快適な施設見学を確保するため、適切な改修を行うものです。

《事業内容》

- エレベーター更新工事実施設計委託料

(教育費・10款6項5目／文化振興課)

◆ **スポーツ振興事業** 4, 678千円

釜石市体育協会と連携を図り、生涯スポーツの振興や競技スポーツの競技力の向上を推進するとともに、東海市、袋井市、朝日町において、スポーツを通じ相互関係を一層深める継続的な交流事業を展開するものです。

《事業内容》

- 全国ビーチボール競技大会経費 671千円
- 釜石市体育協会事業補助金 4,000千円 等

◆ **各種大会等助成事業** 5, 400千円

市内で開催する各種スポーツ大会に対して助成を行うことで交流人口の拡大を図り、市内活性化を図るものです。

《事業内容》

- かまいし仙人峠マラソン大会実行委員会負担金 3,200千円
- 釜石市トライアスロン協会事業補助金 800千円
- 釜石オープンウォータースイミング大会事業補助金 800千円
- 各種スポーツ大会等開催補助金（12競技） 600千円

◆ **ラグビーによる人材育成事業** 938千円

当市が誇る「ラグビー」という地域資源を活用し、児童生徒らがラグビーの魅力や楽しさに触れながら、心身の健康増進、体力向上、ラグビー精神を身に付けた将来を担う人材の育成を図るものです。

《事業内容》

- 「ラグビーのまち釜石」教室の開催

◆ **かまいしラグビーレガシー継承事業** 2,709千円

ラグビーワールドカップのレガシーである多くのボランティアとの絆と、このつながりの維持と交流拡大を実施するため設立された「釜石ラグビー応援団」への運営補助を行いながら、市が行うラグビーを活用したまちづくりへの民間側での活動展開を支援するものです。

《事業内容》

- 釜石ラグビー応援団運営補助金 1,500千円
- 釜石ラグビー応援団映像配信事業補助金 1,000千円 等

◆ **ラグビーメモリアルイベント開催事業** 8,896千円

ラグビーワールドカップのレガシーを継承し、「ラグビーのまち釜石」の定着及び情報発信を行うとともに、ラグビーの価値を再認識しながら市民が未来への希望を紡ぐ機会とするため、ラグビーイベントを開催するものです。

《事業内容》

- 開催時期 9月～10月（予定）
- 開催場所 釜石鶴住居復興スタジアム ほか
- 内 容 釜石ラグビッグドリーム事業補助金 6,000千円
釜石絆の日開催事業補助金 2,500千円 等

◆ **スポーツ合宿誘致推進事業** 4,432千円

釜石鶴住居復興スタジアムや根浜海岸多目的広場、市民体育館等当市のスポーツ施設を活用し、団体スポーツ合宿を誘致することにより、スポーツ振興を図るとともに、スポーツツーリズムの推進につなげるものです。

《事業内容》

- スポーツ合宿事業費補助金 3,500千円
 - ・ 補助対象者：市外のスポーツ団体
 - ・ 補助対象経費：交通費（限度額25万円以内）、宿泊費（限度額10万円以内）等

◆ **日本代表等釜石合宿おもてなし事業** 1,000千円

ラグビー日本代表等の合宿を当市に誘致開催し、子どもたちとその関係者らが代表選手とのラグビー教室等で交流するほか、代表選手の練習風景等を広く市民に公開するとともに、市内では各種ボランティア関係者を巻き込んでのおもてなしの装飾や歓迎イベントを開催することで、ラグビーの聖地としての釜石ならではの学びの空間を創出するものです。

《事業内容》

- 市民との交流事業、おもてなしイベントの開催 等

◆ **スタジアムコンサート誘致推進事業【新規】** 4,000千円

釜石ゆかりの音楽アーティストによる岩手初のスタジアムコンサートを誘致開催しようとするものです。

《事業内容》

- スタジアムコンサート開催事業補助金 3,780千円 等

(教育費・10款7項1目/スポーツ推進課)

◆ **厨房備品更新事業** 22,990千円

児童生徒が栄養バランスの良い食習慣を身につけ、食の安全に対する理解を深めることのできる学校給食を提供するため、旧学校給食センターから移設した厨房備品を更新するものです。

《事業内容》

- 厨房備品(真空冷却機)購入費

◆ **子ども・子育て支援給付事業(給食費の一部無償化事業)** 15,000千円

多子世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進するため、高校生以上を含む第3子以降の児童生徒の給食費を無償化するものです。

《事業内容》

- 対象人数 284人(予定)

(教育費・10款7項3目/学校給食センター)

6 **教育委員会附属・関連機関**

(1) **釜石市文化財保護審議会**

(任期：令和4年8月23日～令和6年8月22日)

令和6年4月1日現在

番号	職名	氏名	職業	委嘱開始年月日
1	会長	川原清文	無職	平成18年5月1日
2	副会長	久保知久	農業	平成16年6月1日
3	委員	松本武	無職	平成15年4月1日
4	委員	山崎倫昭	無職	平成24年1月1日
5	委員	千葉愛子	無職	令和2年4月1日
6	委員	市川淳子	無職	令和2年4月1日
7	委員	瀬戸元	無職	平成21年5月1日
8	委員	藤井サエ子	自営業	平成21年5月1日
9	委員	河東直江	宮司	平成24年1月1日
10	委員	鱒沢トモ子	無職	令和2年4月1日
11	委員	佐々木光壽	自営業	平成17年4月1日
12	委員	藤原信孝	無職	平成24年1月1日
13	委員	加藤良司	無職	平成28年1月1日
14	委員	千葉まき子	無職	令和2年4月1日
15	委員	藤井静子	無職	令和4年8月23日

(2) 釜石市学校給食センター運営委員会

(任期：令和5年7月1日～令和7年6月30日)

令和6年7月1日現在

役職	氏名	所属	最初の委嘱年月日	選出区分
委員長	佐藤一成	鶴住居小学校校長	令和4年5月27日	小学校の校長
副委員長	山蔭深思	甲子中学校校長	令和5年7月1日	中学校の校長
副委員長	金野宏美	釜石薬剤師会	平成19年7月1日	学識経験者
委員	八木澤江利子	栗林小学校校長	令和5年7月1日	小学校の校長
委員	佐守直人	平田小学校校長	令和5年7月1日	小学校の校長
委員	金野学	唐丹中学校校長	令和6年5月23日	中学校の校長
委員	元持彰範	釜石小学校PTA会長	令和6年5月23日	小学校のPTA会長
委員	岡本善幸	白山小学校PTA会長	令和6年5月23日	小学校のPTA会長
委員	谷藤太郎	小佐野小学校PTA会長	令和5年7月1日	小学校のPTA会長
委員	山崎政仁	釜石中学校PTA会長	令和6年5月23日	中学校のPTA会長
委員	小川興隆	釜石保健所環境衛生課	令和5年7月1日	釜石保健所職員
委員	安達史枝	岩手県立釜石祥雲支援学校校長	令和6年5月23日	その他教育長が指名する者
委員	畑山身知子	双葉小学校養護教諭	令和5年7月1日	その他教育長が指名する者
委員	山路希里穂	甲子小学校養護教諭	令和5年7月1日	その他教育長が指名する者
委員	伊藤舞子	大平中学校養護教諭	令和5年7月1日	その他教育長が指名する者
委員	藤井津佳子	釜石東中学校養護教諭	令和5年7月1日	その他教育長が指名する者

(3) 釜石市社会教育委員

(任期：令和6年1月1日～令和7年12月31日)

令和6年7月1日現在

	氏名	職業・団体等	最初の委嘱年月日	種別
1	市村かおり	双葉小学校校長	令和6年5月1日	学校
2	山蔭深思	甲子中学校校長	令和6年5月1日	学校
3	青木裕信	岩手県立釜石高等学校校長	令和4年5月1日	学校
4	山口邦子	釜石商工会議所女性会副会長	平成28年1月1日	社会
5	須藤寛人	釜石市PTA連合会顧問	令和6年1月1日	社会
6	遠藤静江	釜石市芸術文化協会監事	令和6年1月1日	社会
7	藤井智哉	(一社)釜石青年会議所理事長	令和6年1月1日	社会
8	中田貴世江	釜石市PTA連合会母親委員	令和6年1月1日	家庭
9	佐藤健	釜石市スポーツ推進委員協議会会長	令和6年1月1日	社会
10	柴田渥	かまいし女性フォーラム'21代表・主婦	平成8年5月1日	家庭
11	吉岡真美	放課後子ども教室協働活動サポーター	令和元年5月1日	家庭
12	菊池亮	釜石市社会福祉協議会	平成30年1月1日	学識

(4) 釜石市立公民館運営審議会

任期：令和6年1月1日～令和7年12月31日 釜石・甲子・小佐野・鶴住居・栗橋・唐丹

任期：令和6年5月1日～令和8年4月30日 平田

任期：令和5年5月1日～令和7年4月30日 中妻

令和6年5月1日現在

釜石公民館	氏名	役職等	最初の委嘱年月日	種別
	五安城 正 敏	釜石小学校校長	令和6年5月1日	学
	高 橋 信 昌	大平中学校校長	令和5年5月1日	学
	鈴 木 慎	白山小学校校長	令和6年5月1日	学
	柏 木 成一郎	大只越町2丁目町内会長	平成30年5月1日	識
	菊 池 有美子	主任児童委員	令和6年1月1日	社家
	山 崎 義 勝	大只越町内会長	平成30年5月1日	社
	合 澤 洋 子	民生児童委員	令和元年5月1日	社家
	小野寺 しず子	主婦	令和4年5月1日	家

平田公民館	氏名	役職等	最初の委嘱年月日	種別
	佐 守 直 人	平田小学校校長	令和5年5月1日	学
	中 川 崇 司	平田町内会会長	令和6年5月1日	社
	久 保 修 一	社会福祉法人清風会	令和4年5月1日	社
	高 澤 友 子	釜石湾漁業協同組合平田女性部部长	令和4年5月1日	社家
	佐々木 淳 子	釜石湾漁業協同組合白浜浦女性部部长	平成30年5月1日	社家
	福 田 博	民生児童委員（主任児童委員）	平成30年5月1日	社家
小 松 美 香	平田こども園園長	令和2年5月1日	学	

中妻公民館	氏名	役職等	最初の委嘱年月日	種別
	市 村 かおり	双葉小学校校長	令和6年5月1日	学
	海 藤 祐 子	中妻子供の家保育園園長	令和4年5月1日	社
	村 上 雄 子	ニチニチソウ代表	平成27年5月1日	社
	佐々木 ひろ子	民生児童委員（主任児童委員）	平成27年5月1日	社家
	佐 藤 力	中妻地区地域会議議長	令和2年8月1日	社
	万城目 千佳代	民生児童委員	令和2年8月1日	社
小田中 彰 次	上中島Ⅱ期復興公営住宅自治会	令和3年5月1日	社	

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
甲子公民館	細 田 多 聞	甲子小学校校長	令和6年5月1日	学
	山 蔭 深 思	甲子中学校校長	令和5年5月1日	学
	安久津 吉 延	松倉町内会	平成9年5月1日	社
	松 田 真 帆	放課後子ども教室協働活動サポーター	平成30年1月1日	家
	坂 本 慶 子	甲子歌う会代表	平成22年12月1日	社
	佐 藤 道 子	民生児童委員	令和5年5月1日	社家
	村 上 幸三郎	大畑町内会事務局長	令和2年1月1日	社

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
小佐野公民館	千 田 有 美	小佐野小学校校長	令和5年5月1日	学
	佐々木 一 成	釜石中学校校長	令和6年5月1日	学
	長谷川 こう子	民生児童委員（主任児童委員）	平成28年1月1日	社家
	木 谷 眞知子	主婦	平成19年8月1日	家
	黒 田 至	小佐野地域会議議長	平成28年5月1日	社
	多 田 稔	小川町内会会長	令和6年1月1日	社
	吉 田 千 秋	釜石市スポーツ推進委員	令和2年1月1日	社

	氏 名	役 職 等	最初の委嘱年月日	種別
鵜住居公民館	佐 藤 一 成	鵜住居小学校校長	令和4年5月1日	学
	佃 拓 生	釜石東中学校校長	令和4年5月1日	学
	小 山 士	鵜住居町内会	平成24年1月1日	社
	瀬 戸 保 子	主婦	平成26年8月1日	家
	三 浦 紘 子	釜石東部漁業協同組合箱崎女性部長	平成12年5月1日	社家
	澤 本 和 子	主婦	平成25年1月1日	社
	山 口 未 来	釜石大槌地区郷土料理研究会	平成31年4月1日	社

栗橋公民館	氏名	役職等	最初の委嘱年月日	種別
	八木澤 江利子	栗林小学校校長	令和4年5月1日	学
	川崎 悦三郎	民生児童委員	令和4年1月1日	社家
	八幡 和郎	沢町内会副会長	令和4年1月1日	社
	川崎 通	無職	令和4年1月1日	社
	八幡 裕子	能舟木町内会会長	令和2年1月1日	家
	遠藤 朱実	自営業	令和2年1月1日	家
	小笠原 春美	専業主婦	令和6年1月1日	家

唐丹公民館	氏名	役職等	最初の委嘱年月日	種別
	戸羽 太一	唐丹小学校校長	令和6年5月1日	学
	金野 学	唐丹中学校校長	令和6年5月1日	学
	木村 京子	民生児童委員	令和元年5月1日	社家
	川原 清文	市文化財保護審議会委員	平成19年5月1日	社
	河東 智子	民生児童委員（主任児童委員）	平成25年1月1日	社家
	上村 年恵	保護司	平成19年5月1日	家
佐久間 定樹	健康運動実践指導士	令和2年1月1日	社	

※種別：学＝学校教育関係者、社＝社会教育関係者、家＝家庭教育の向上に資する者、識＝学識経験者

(5) 釜石市立図書館協議会

(任期：令和5年5月1日～令和7年4月30日)

令和6年5月1日現在

役職名	氏名	委嘱時期	選出区分
委員長	藤原 由香里	平成27年5月	社会教育関係者
副委員長	足立 佐智子	令和元年5月	家庭教育関係者
	野田 摩理子	平成19年5月	学校教育関係者
	柴田 渥	平成29年5月	社会教育関係者
	万城目 千佳代	平成30年5月	社会教育関係者
	村上 修	令和3年5月	学識経験者
	市川 淳子	令和3年5月	社会教育関係者
	鈴木 崇	令和5年5月	社会教育関係者
	細田 多聞	令和6年5月	学校教育関係者